

6 高齢者のいる世帯の状況

65歳以上の世帯員がいる主世帯を「高齢者のいる世帯」とし、次のとおり区分。

「高齢単身世帯」 65歳以上の単身の主世帯

「高齢者のいる夫婦のみの世帯」 夫婦とも又はいずれか一方が65歳以上の夫婦のみの主世帯

「高齢者のいるその他の世帯」 高齢者のいる世帯から上記の二つを除いた主世帯

(1) 世帯数の推移

主世帯の約半数が高齢者のいる世帯

図16 高齢者のいる世帯の推移—富山県(昭和58年～令和5年)

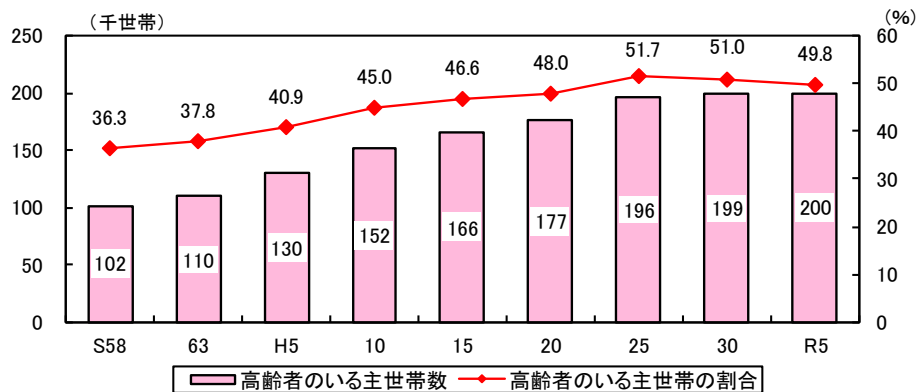
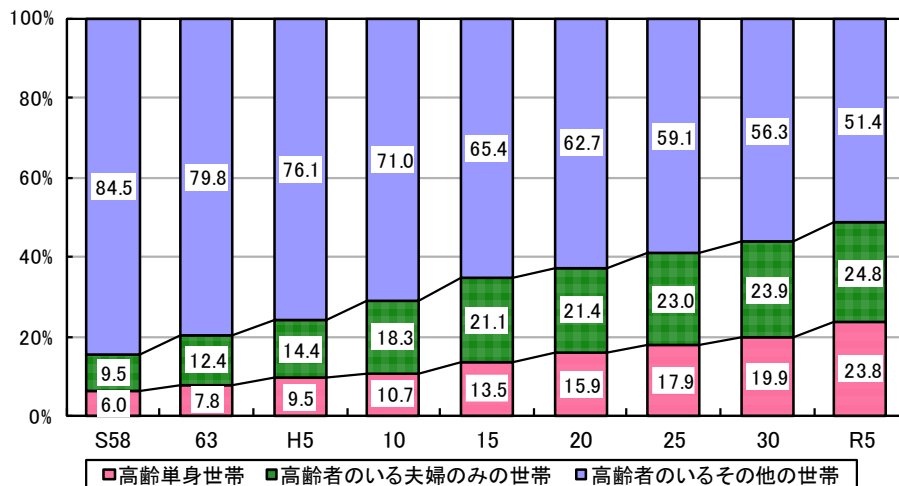


図17 高齢者のいる世帯の型別割合の推移—富山県(昭和58年～令和5年)



高齢者のいる世帯は200,200世帯で、平成30年の199,400世帯から800世帯(0.4%)増となっている。主世帯全体(401,900世帯)に占める割合は49.8%(全国42.7%)で、平成30年(51.0%)から1.2ポイント低下している。

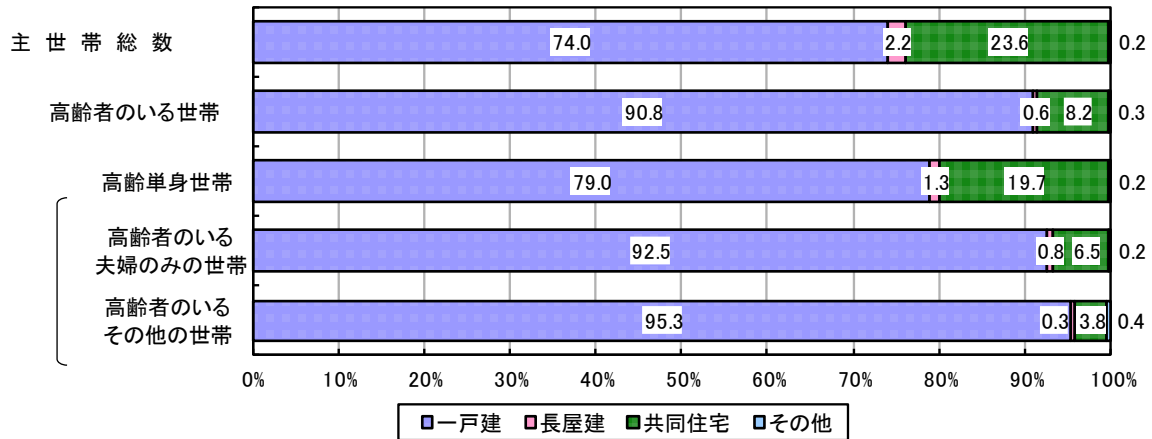
世帯の型別にみると、「高齢単身世帯」が47,600世帯で23.8%(全国32.1%)、「高齢者のいる夫婦のみの世帯」が49,600世帯で24.8%(全国28.9%)、「高齢者のいるその他の世帯」が103,000世帯で51.4%(全国39.0%)となっている。平成30年と比べると、「高齢単身世帯」が8,000世帯(20.2%)増、「高齢者のいる夫婦のみの世帯」が2,000世帯(4.2%)増となっている。

<図16、図17>

(2) 住宅の建て方・所有の関係

高齢者のいる世帯は一戸建及び持ち家に居住する割合が高い

図 18 世帯の型、住宅の建て方別割合—富山県(令和5年)

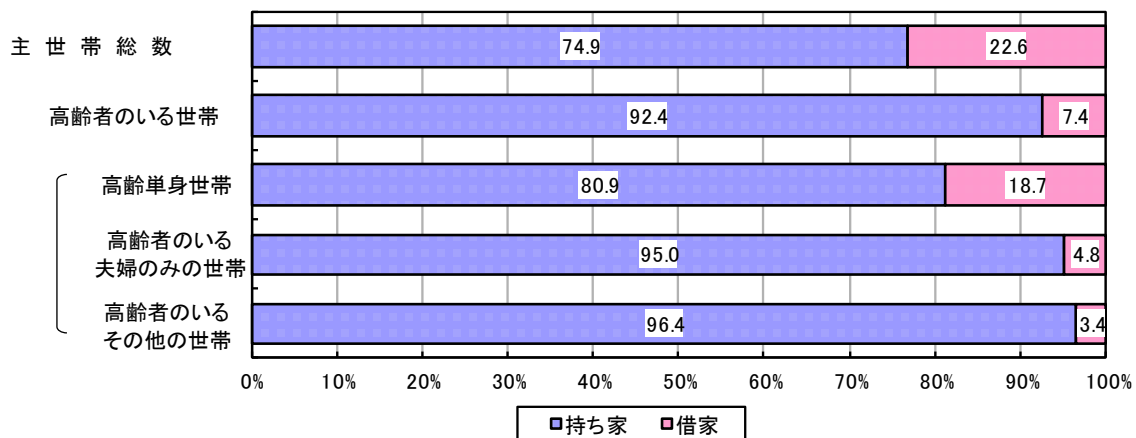


高齢者のいる世帯について、住宅の建て方別割合をみると、一戸建が90.8%、共同住宅が8.2%などとなっている。主世帯全体（一戸建74.0%、共同住宅23.6%）に比べ、一戸建の割合が高く、共同住宅の割合が低くなっている。

これを世帯の型別にみると、「高齢者のいるその他の世帯」では一戸建の割合（95.3%）が特に高くなっており、「高齢単身世帯」では他の世帯の型に比べ共同住宅の割合（19.7%）が高くなっている。

< 図 18 >

図 19 世帯の型、住宅の所有の関係別割合—富山県(令和5年)



高齢者のいる世帯について、住宅の所有の関係別割合をみると、持ち家が92.4%、借家が7.4%となっている。主世帯全体（持ち家74.9%、借家22.6%）に比べ持ち家の割合が高くなっている。

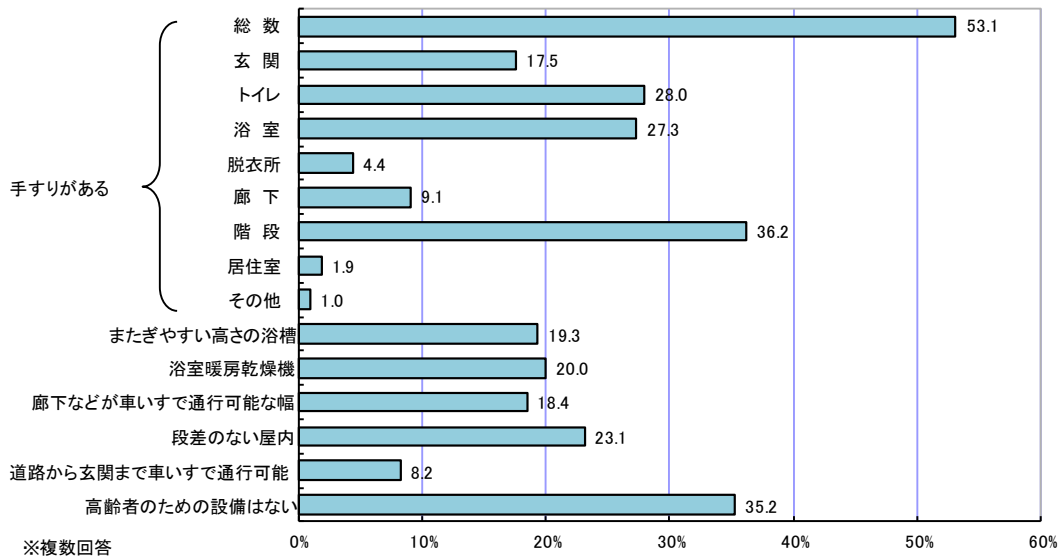
これを世帯の型別にみると、「高齢者のいる夫婦のみの世帯」及び「高齢者のいるその他の世帯」では持ち家の割合（それぞれ95.0%、96.4%）が特に高くなっており、「高齢単身世帯」では他の世帯の型に比べ借家の割合（18.7%）が高くなっている。

< 図 19 >

(3) 高齢者等のための設備

半数以上の住宅に高齢者等のための設備あり

図 20 高齢者等のための設備がある住宅の割合－富山県(令和5年)



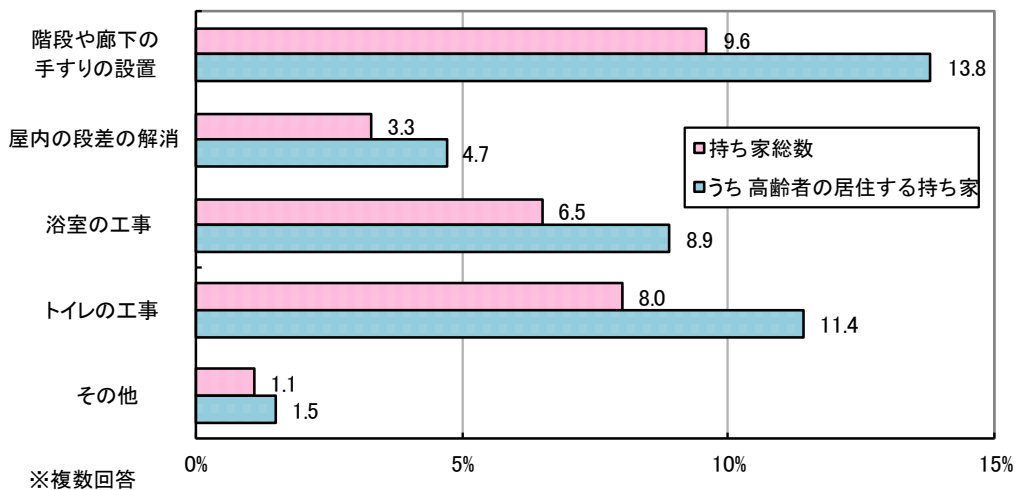
高齢者等のための設備のある住宅は 250,400 戸となっており、住宅全体 (410,900 戸) に占める割合は 62.3% (全国 56.0%) で、全国 3 位となっている。

高齢者等のための設備の状況 (複数回答あり) をみると、「手すりがある」が 53.1% と最も高く、次いで「段差のない屋内」が 23.1%、「浴室暖房乾燥機」が 20.0%、「またぎやすい高さの浴槽」が 19.3% などとなっている。また、手すりの設置場所をみると、「階段」が 36.2%、「トイレ」が 28.0%、「浴室」が 27.3% などとなっている。

< 図 20 >

2019 年以降に高齢者等のための設備工事が行われた持ち家は 16.9%

図 21 2019 年以降における高齢者等のための設備工事の状況別持ち家の割合－富山県(令和5年)



2019年以降における高齢者等のための設備工事の状況についてみると、「工事をした」が50,800戸で、持ち家全体(301,100戸)に占める割合は16.9%(全国13.0%)となっている。このうち、高齢者の居住する持ち家についてみると、「工事をした」が43,600戸で、高齢者の居住する持ち家全体(184,900戸)の23.6%(全国18.9%)となっている。

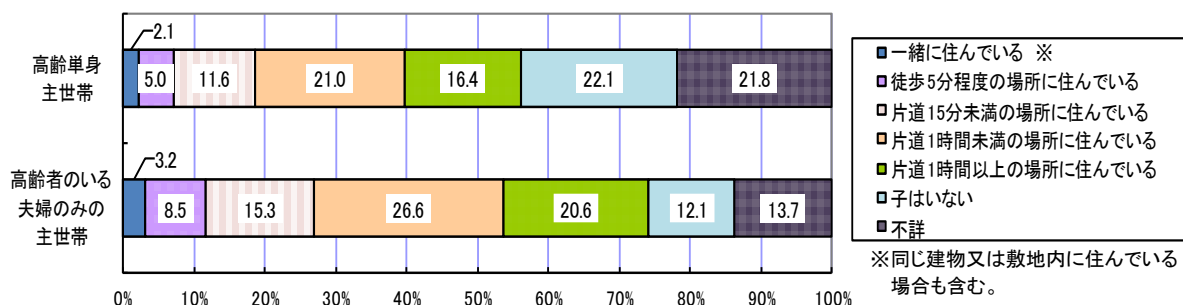
設備工事の内訳(複数回答あり)をみると、持ち家全体では「階段や廊下の手すりの設置」が9.6%、「トイレの工事」が8.0%、「浴室の工事」が6.5%などとなっている。高齢者の居住する持ち家においては、「階段や廊下の手すりの設置」が13.8%、「トイレの工事」が11.4%、「浴室の工事」が8.9%などとなっている。

<図 21>

(4) 子の居住地

高齢单身主世帯の約2割は、片道15分未満の場所に子が居住

図 22 子の居住地別高齢者主世帯の割合—富山県(令和5年)



高齢单身主世帯(47,600世帯)について、子(未婚の子だけでなく既婚の子や子の配偶者も含む)の居住地をみると、「一緒に住んでいる(同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含む)」が1,000世帯(2.1%)、「徒歩5分程度の場所」が2,400世帯(5.0%)、「片道15分未満の場所」が5,500世帯(11.6%)などとなり、子がいない世帯は10,500世帯(22.1%)となっている。

高齢者のいる夫婦のみの主世帯(49,600世帯)では、「一緒に住んでいる(同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含む)」が1,600世帯(3.2%)、「徒歩5分程度の場所」が4,200世帯(8.5%)、「片道15分未満の場所」が7,600世帯(15.3%)などとなり、子がいない世帯は6,000世帯(12.1%)となっている。

片道15分未満の場所に子が居住している世帯の割合をみると、高齢单身主世帯では全体の約2割となり、高齢者のいる夫婦のみの主世帯では約3割となっている。

<図 22>